

令和7年度北陸地区スポーツ推進委員研修会 報告書

1 期 日 令和7年6月28日（土）・29日（日）

2 会 場 1日目<開会式、表彰式、講演、事例発表、情報交換会>

・富山県新川文化ホール

2日目<実技研修、閉会式>

・【ユニホック】 ありそドーム（アリーナ）

・【エアロビクス】 ありそドーム（産業展示ホール）

・【モルック】 桃山運動公園屋内グラウンド

・【ワンバウンドふらば～るバレー】 魚津高校第1・2体育館

3 主 催 公益社団法人全国スポーツ推進委員連合

北陸地区スポーツ推進委員協議会

石川県スポーツ推進委員協議会 福井県スポーツ推進委員協議会

新潟県スポーツ推進委員協議会 富山県スポーツ推進委員協議会

4 主 管 北陸地区スポーツ推進委員研修会富山県実行委員会

5 後 援 スポーツ庁 石川県 福井県 新潟県 富山県 魚津市

6 大会テーマ 「心豊かなスポーツライフ・ウェルビーイングの向上を目指して」

7 日 程

【6月28日（土）】

オープニングアトラクション 魚津せり込み蝶六保存会

(1) 開会式 13:00～13:30

①開会宣言 北陸地区スポーツ推進委員協議会 副会長 宮口 隆志

②あいさつ 北陸地区スポーツ推進委員協議会 会長 長谷 哲男

公益社団法人全国スポーツ推進委員連合 会長（ビデオメッセージ）阿達 雅志

③祝 辞 富山県生活環境文化部 次長 林原 泰彦

④歓迎のことば 魚津市長 村椿 晃

⑤登壇者紹介



(2) 表彰式 13:30～13:45

①中プロックススポーツ推進委員協議会表彰（富山県受賞者4名）

赤壁 早苗（射水市） 海木 茂（氷見市） 林 茂之（氷見市） 高森 志郎（高岡市）

②北陸地区スポーツ推進委員協議会表彰（富山県受賞者 12名）

蛇見由紀子（砺波市） 藤井 保博（富山市） 兼田美智恵（黒部市） 金 孝春（射水市）
平野 浩司（魚津市） 石原夫砂子（魚津市） 久々江いずみ（高岡市） 井上 悅子（富山市）
平垣 恵子（富山市） 鷹田 喜美（小矢部市） 熊野 栄子（滑川市） 竹田 一美（南砺市）



（3）講演 14：00～15：20

講師 佐伯 克美 氏（クロスカントリースキー競技者 ギネス世界記録保持者

（世界最高齢の女性クロスカントリースキーヤー）

演題 「今日と同じ明日を！」

「今日と同じ明日のために、今できることを楽しむのが私の生き方」と、はつらつと語り、小学校長を退職した60代以降の様々な活動を、写真とともに紹介された。64歳で真冬の剱岳に登頂し、70歳の時には、凍結した間宮海峡をクロカンスキーで横断。87歳で全日本マスターズスキー選手権に出場し、ギネス世界記録に認定され、現在も更新に挑んでおられる。「昨日と同じ今日、今日と同じ明日」であり続ける秘訣と、果敢に世界に挑み続ける人生観について、ご講演いただいた。



（4）事例発表 15：30～16：50

テーマ 「心豊かなスポーツライフ・ウェルビーイングの向上を目指すための
スポーツ推進委員の役割・取組み」

事例発表者 森田 俊勝氏（石川県穴水市）「令和6年能登半島地震

～復旧・復興を目指して～スポーツ推進委員の役割」

今井 由香里・荒田 千夜子氏（福井県あわら市）

「明・笑・楽（あ わ ら）あかるく わらって たのしもう」

嶋田 友宏氏（新潟県糸魚川市）「糸魚川市スポーツ推進委員協議会の活動紹介」

平野 浩司氏（富山県魚津市）「生涯スポーツで魚津を元気に！～ニュースポーツの普及を通して～」

スポーツ推進委員は、住民の誰もがいつでもスポーツに親しむことができる「心豊かなスポーツライフ」の実現を目指し、また、自分らしく生きていることに満足し、幸せをずっと実感できるウェルビーイングの向上のために取り組む必要がある。どの市町村でも活発な活動がなされているが、各関係機関と情報交換をしながら様々な事業を進めていくことが必要不可欠である。特に参加人数が多いイベントや大規模な大会等を開催するときは、横のつながりを大切にし、連携を深めながら行っていくことが大切である。その結果、委員としての資質向上や、市町村のスポーツ振興につながっていくと考える。



(5) 情報交換会（ホテルグランミラージュ・スカイホテル魚津） 18：00～20：00
他県の方々と大いに交流を図ることができた。



【6月29日（日）】

実技研修 9：30～11：30

【ユニホック】 ありそドーム（アリーナ）

ユニホックとは、2チーム6人ずつでプレーするスポーツで、スティックを使ってボールを相手のゴールにシュートし得点を競う。コートはフェンスに囲まれた縦20～30m、横10～15mのサイズ。また、ユニホックは「ユニバーサルホッケー」とも呼ばれ、プラスティック製の柔らかなスティックとボールを使用し、安全性を高めたミニホッケーの一種。



【エアロビクス】 ありそドーム（産業展示ホール）

エアロビクスとは、健康的な身体を作ることを目的とした有酸素運動の一種。1980年代にアメリカのケネス・クーパー博士によって開発され、酸素を取り入れながら全身の持久性を高めるトレーニング法として広まった。エアロビクスには、ダンス形式のエクササイズだけでなく、ジョギングや水泳などの運動も含まれる。



【モルック】 桃山運動公園屋内グラウンド

モルックは、フィンランド発祥のスポーツで、木製のピン（スキットル）を「モルック棒」と呼ばれる木の棒で倒し、得点を競うゲーム。戦略と技術が入り混じった奥深いスポーツで、初心者でもすぐに楽しめる一方で、競技として世界大会が開かれるほどの競技性と戦略性があるのが特徴。



【ワンバウンドふらば～るバレー】 魚津高校第1・2体育館

2つのチームが一定のコート上でネット越しに変形ボール（ふらば～る）を打ち合うバレーボール型のスポーツ。軽い変形ボールを使用するため、スピードが遅く突き指の心配がないので、ボールに恐怖心を持つことがない。また、ボールの飛ぶ方向に意外性があり、予測を付けにくいことがゲームを面白くしている。参加者全員をローテーションの対象とするため、参加者全員が平等に楽しめる。

